

Ikuhou 通信 ~11月号~

令和6年10月7日発行

育宝進学塾ホームページ:<https://www.ikuhou.com>

飯能教室: ☎ 042(972)5543 ✉ hannou@ikuhou.com
入間教室: ☎ 04(2963)2376 ✉ iruma@ikuhou.com
小川教室: ☎ 0493(73)2221 ✉ ogawa@ikuhou.com
東松山教室: ☎ 0493(81)4970 ✉ higashimatsuyama@ikuhou.com
武蔵藤沢: ☎ 04(2902)6910 ✉ musashi-fujisawa@ikuhou.com
新所沢教室: ☎ 04(2968)6835 ✉ shintokorozawa@ikuhou.com

最新情報

8月29日に埼玉県教育局は、今春の県内公私立・国立の高等学校卒業生の進路状況(速報)を発表しました。

令和6年3月高等学校卒業生		
	人数	構成比
県内高等学校 卒業生数	50,543人	100%
大学進学者	33,303人	65.9%
短期大学進学者	1,388人	2.7%
その他(通信等)	123人	0.2%

令和5年3月高等学校卒業生		
	人数	構成比
県内高等学校 卒業生数	52,446人	100%
大学進学者	32,155人	61.3%
短期大学進学者	1,608人	3.1%
その他(通信等)	122人	0.2%

前年度と比べると、卒業生数は減少しているが、大学進学者は増加していることがわかります。構成比でみると、大学進学率は6年連続上昇しています。

このデータからわかるように、卒業生の6割以上が大学進学しています。特に、学校の評定を利用した推薦入試の利用が増加傾向にあるので、より高校1年生からの評定が大切になっています。もちろん、高校入試が1つの目標であることには変わりはありませんが、その先の進学を見据えて学習を継続していくことが重要になっていきます。

教室からお知らせ

保護者会について

10月13日(日)・20日(日)で保護者会が行われます。今回はオンラインでの実施になります。ZoomのIDやパスコードは別紙にてお知らせいたします。

中3 ①10月13日(日) 10:00~ ②10月20日(日) 15:00~

小5・小6 ①10月13日(日) 13:00~ ②10月20日(日) 10:00~

中1・中2 ①10月13日(日) 15:00~ ②10月20日(日) 13:00~

※各学年(①②)から日時をお選びいただけます。

11月の予定

中1・2 第四回 中3 第六回模擬テストについて

中1・2 第四回、中3 第六回模擬テストが11月9日(土)に実施されます。自分の実力を確認する重要なテストですので、全員必ず受験してください。中2は今回から5教科の実施になりますので、時間に気をつけてください。また、当日都合が悪い場合は「事前受験」ができます。詳しくは、各教室の先生にご相談ください。

中学部保護者個人面談について -10/22 から 11/14-

入試相談前倒しもあり、必要に応じて保護者面談を随時行っていますが、今後、中学の面談などが入り、**早めの面談を希望される場合は電話にてご連絡ください**。また、一回の面談で決まらないことも多々あります。その際は何回でも再面談を行いますのでご遠慮なく教室までご連絡ください。

中3 特訓授業について

9月7日(土)から授業が行われています。2月22日までの約6ヶ月間、土曜日を使っでの授業は、今までの「単元別の学習」から『総合的な問題を解く実践力』を育成するためのものになり、計100時間以上こなします。模試・北辰・検定・定期試験など、いろいろと多忙ではありますが、ぜひ乗り越えてほしいと思います。

定期テスト対策特別講座について

定期テストに向けて、自分の苦手な単元や、強化したい単元を教科問わずにお選びいただけます。自習室だと人数が多くて質問しづらい方や、先生にたくさん教えてほしい方におすすめです。検定対策などもご利用いただけます。通常授業にこの特別講座をプラスして定期テストに万全な体制で挑もう!!

来月以降

12月の北辰テストについて

中3 第七回北辰テストが12月1日(日)に実施されます。私立高校の推薦制度を利用できるか否かを決定する最後のチャンスです。しっかりと準備をして、ベストを尽くしましょう。

冬期講習について

小1から高3を対象に冬期講習があります。中2までは夏期講習同様『復習してしっかりと定着』を目標に頑張ります。また、中3は受験まで1か月を切ります。**特訓授業+冬期講習+正月特訓**で最後の仕上げを行います。

保護者様への情報コーナー

今月のテーマ：子どもに結末を体験させる

親は何かと子どもの世話を焼きたいものです。「何で、こんなことまで言わせるの!？」、「本当に世話が焼けるんだから」とブツブツ言いながらも…。

しかし、世話を焼くことも程度の問題です。焼きすぎれば、子どもは、いつまで経っても親の指示を待ったり、誤った指示に文句を言って、自分の問題であるにもかかわらず、親の責任に仕立て上げることを学んでしまうかもしれません。

母：「寒くなって来たから、風邪をひかないように上着を着ていきなさい！」

子：「大丈夫だよ！」

母：「大丈夫じゃないわよ！風邪をひけば辛いのはあなたでしょ！いいから着て行きなさい」

子：「大丈夫だってば！風邪をひくのはお母さんじゃないんだから…」

母：「そんなこと言ったって、あなたが風邪をひいたら、何かと面倒みなきゃならないでしょ！」

子：「だから、大丈夫だよ」

母：「何が大丈夫なのよ。つべこべ言わずに着ていきなさい」

子：「面倒くさいなー」

この結果、子どもが寒い思いをしなければ、「だから、いらんって言ったじゃん！」と文句を言われるかもしれませんし、もし、「着て来てよかった」となれば、「無理やり着せられてよかった」なるかもしれません。

後者の場合、感謝の気持ちが起きれば良いのですが、次の機会も親が自分を守ってくれると学ぶとすれば、ちょっと心配です。子どもが自分で考えて行動する機会を奪うことになるかもしれないからです。ちょうど、野生の動物を動物園で飼育して、二度と野生に戻れなくなることに似ています。

そこで、

母：「寒くなって来たから、風邪をひかないように上着を着ていきなさい！」

子：「大丈夫だよ！」

母：「そうは言っても、寒いから着て行った方がいいんじゃない？」

子：「僕は暑がりだし、大丈夫だよ！」

母：「そう。風邪ひかないようにね！」

子：「うん」

この結果、子どもが寒い思いをしなければ、「自分の判断が正しかった」と満足するでしょうし、もし寒い思いをしたとしたら、「くそー。お母さんの言うことを聞けばよかった…、今度は着て出かけよう」と、お母さんを恨むこともなく、自分の責任として学びの機会を得るのです。

このように、親の意見（気持ち）は、意見として伝えるものの、最終的に子どもの決断を尊重し、その決断の結果を子ども自身に体験させる指導法を「自然の結末」を体験させると言えます。結末が、取り返しのつかないことでない限り、親も疲れない有効な指導法です。

このコーナーでは、保護者の方へ、お子様との関わり方についてお伝えしていきます。

**お近くで塾を探しているお子様や保護者様はいらっしゃいませんか??
ぜひ、育宝進学塾にご紹介ください。**

お問い合わせTEL 0493-81-4970 までご連絡ください。